



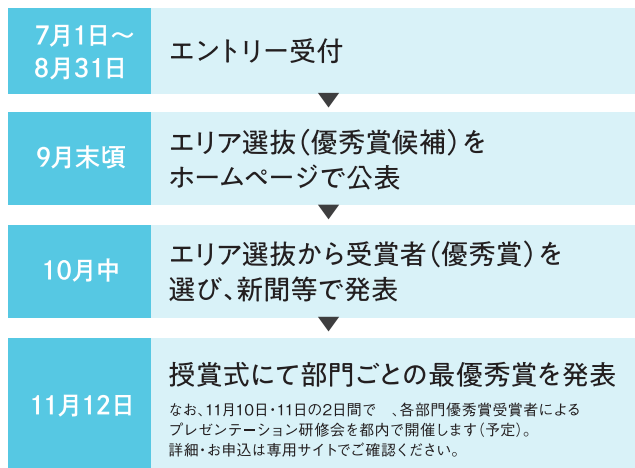
## 募集要項

賞ラインナップ
マニフェスト推進賞
成果賞*
政策提言賞*
コミュニケーション戦略賞
躍進賞

各賞の概要や審査基準など詳細はホームページをご覧ください。首長・議会・議員に限らず、どなたでも応募頂けます。具体的には、市民団体、NPO、自治体職員、教育機関、民間企業、メディアなど、立場を問わず善政競争につながる活動や取組であれば対象となります。応募内容により、応募部門とは異なる部門で表彰される場合もございます。

\*成果賞と政策提言賞のみ、首長は応募できません。

## エントリーから表彰までの流れ



さらに、各部門の最優秀賞受賞者のうち、最も優れた受賞者をグランプリとして表彰

## 前回の 受賞事例 (抜粋)



古川雅典市長(多治見市)

市民や有識者、執行部、市議会の3者による徹底した議論とその末の政策決定を経ることで個々のマニフェストを事業計画に落とし込み財政的な担保を確保することで100%の実現をめざす取組み。



奥州市議会

「政策立案等に関するガイドライン」を策定し常任委員会ベースの議会活動を推進。「議決・決議」という従来の権限と「政策提言」という政策をつくり議決まで持っていくことを実現。



株式会社チューリップテレビ(富山県)

富山市議会を4年にわたって集中的に取材。「議員報酬の引き上げ」取材を皮切りに、後に14人の市議が辞職する「政務活動費の不正」の調査報道に繋がりました。



多胎育児のサポートを考える会(東京都千代田区)

全国の多胎児家庭世帯からアンケートで回答を集め、様々な困難を可視化。令和2年度からの多胎児家庭支援制度の創設へと繋がりました。



小川ひさし(さいたま市議会議員)

障害者当事者と共に市に独自制度の創設を求め、2019年度に全国で初めての「重度障害者就労支援制度」創設の実現へと繋がりました。



町田市議会

議案の審査状況を「議案のカルテ」として制作し、インターネットで公開。会議ごとではなく、議案ごとにまとめた市民目線で分かりやすくまとめています。



湯沢市議会

女性議員ゼロの危機感から秋田県内の市議会での初の開催となる模擬議会「湯沢市女性議会」を開催した。ここから実際の女性議員が誕生しています。

## 開催概要

主催	マニフェスト大賞実行委員会	共催	早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社
後援	株式会社共同通信社	協賛	株式会社NTTデータ/森ビル株式会社/株式会社メディアドゥ
協力	公益財団法人明るい選挙推進協会 公益社団法人日本青年会議所		NTTアドバンステクノロジー株式会社/東京インタープレイ株式会社 株式会社社会議録研究所/株式会社図書館総合研究所

授賞式 11月12日\* 六本木アカデミーヒルズ 49F タワーホール

応募方法 ホームページの応募フォームに必要な事項を記入のうえ送信

お問合せ ローカル・マニフェスト推進連盟/マニフェスト大賞事務局  
(早稲田大学マニフェスト研究所内)

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、11月10日・11日の研修会とともに授賞式の開催手法等については変更の可能性があります。

TEL.03-6214-1315